



か て い が く し ゅ う

じ ょ う ほ う

# 小学生 家庭学習サポート情報




臨時休業の間、おうちでの学習に役立つ教材を紹介しています。

好きな教科等からチャレンジしてみましょう！

※ 無料のコンテンツでも使用期限があったりお金がかかったりする場合がありますので、おうちの人と相談して使いましょう。

「子供の学び応援サイト」クリック **検索** 子供の学び応援サイト  
と入力してクリック！



QRコード

**と 解いて学び**  
映像授業やデジタル問題集  
で基礎から学べる教材です。

練習問題などを  
やってみたいな～。

一 二 三 四 五  
六 七 八 九 十

『e-board』 (算数、漢字)





QRコード

**見て学び** NHK「Eテレ」番組を集めた『NHK for School』など、  
下の例のように見て学べる動画が盛りだくさんです。


分かいやすい算数の動画がないかな～。

『マテマティカ2』

アニメーションを使って算数を  
より身近なものとして教えてく  
れます。(小4～6算数)




QRコード




歴史(社会)について知りたいな～。

『歴史にドキリ』

歴史上の人物が生きた時代の背景  
や出来事を自分の体験のように感  
じながら学べます。(小6社会)




QRコード




身の回りの不思議について知りたいな～。

『ふしぎエンドレス』

小学生向けの理科番組で、身の回り  
にある自然や出来事の「ふしぎ」に  
ついて学べます。(小3～6理科)




QRコード




家でも音楽の学習ができないかな～。

『音楽しらべ隊』

郷土の音楽、作曲家などについて  
調べたり、教科書の歌や演奏が聴  
けたりします。(音楽)



QRコード




**体験して学び** 動画やホームページ(HP)上で楽しく体験できる  
コンテンツが盛りだくさんです。


思いきい体を動かしたいな～。

『子どもの体力向上広場』

イラストや動画で「新体力テスト」  
「運動遊び」などについて紹介して  
います。(体育)




QRコード




プログラミングを学んでみたいな～。

『Why!?プログラミング』

プログラミングについての番組で、  
ホームページで体験もできます。  
(各教科等)



QRコード



※ この他に基礎ドリルなどたくさんのコンテンツがあります。おうちの人と相談しながらいろいろと使ってみましょう。

# かていがくしゅう よりよい家庭学習にするために

「おうちで学ぼう！NHK for School」より**抜粋**

## つぎ がくしゅう 次のステップで学習してみましょう

1 「家庭学習ノート」を用意する(日付などを書く<sup>ひづけ</sup>とよい)



2 インターネット(見たいコンテンツ)にアクセス



3 タイトルをヒントにどんな内容かの予想<sup>よそう</sup>をノートに書く



4 コンテンツ(番組)を見る



5 「どんな内容だったか」その内容をまとめる  
(自分<sup>かんそう</sup>の感想も書けるとよい)



6 ノートを見せながら、内容をだれかに伝える<sup>つた</sup>  
(「だれかに伝える」とより理解<sup>りかい</sup>が深<sup>ふか</sup>まります)

**!** インターネットなどを利用<sup>りよう</sup>するときは、以下<sup>いか</sup>の点<sup>ちゆうい</sup>に注意<sup>ちゆうい</sup>しましょう。

- 見てみたいコンテンツは、必ず家庭<sup>そうだん</sup>で相談<sup>りよう</sup>してから利用<sup>りよう</sup>しましょう。
- このチラシでは、無料<sup>むりよう</sup>で利用<sup>りよう</sup>できるコンテンツを紹介<sup>しょうかい</sup>していますが、万一、お金<sup>き</sup>がかかりそうな場合はすぐに見るのをやめてください。
- 見る時間<sup>き</sup>を決めて長い時間<sup>き</sup>は見ないようにしましょう。



# いじめ

しない

させない

みのがさない

誰もがいじめる側、  
いじめられる側  
になる可能性があります！  
あなたのお子さんを見つめてみましょう。

いじめは、どの学校でも、どの子供にも起こり得る問題です。  
いじめを早期に発見するために、子供の小さなサインを見逃さず、  
厳しく温かい心で見守りましょう。



## 「ネット上のいじめ」が急増しています!!

お子さんが携帯電話やインターネットをどのように利用しているか、誰とつながっているか知っていますか？

### ◎「ネット上のいじめ」とは？

- 掲示板・ブログ・プロフィール等のSNS<sup>\*1</sup>を利用して、特定の子供の悪口や誹謗中傷を書き込んだり、個人情報や無断で掲載したりするいじめ
- 特定の子供の悪口や誹謗中傷をメールで送信したり、第三者になりすましてメールを送信したりするいじめ

### POINT

特に、グループ内の参加者しか見ることができないパスワード付きサイトやSNSは大人の目に触れにくいので、「ネット上のいじめ」やトラブルが年々増加しています。そのため、保護者が「ネット上のいじめ」やトラブルの事例などを知っておくことが大切です。

### ◎「ネット上のいじめ」の例は？

- (例1) メッセージを読んだすぐには返事をしなかったためグループからはすされ、悪口をメールで流された。
- (例2) 同級生から暴行される様子を動画で撮影され、パスワード付きサイトに掲載された。その後、グループ以外も閲覧できるようになったため不特定多数の人に広がり、回収が不可能になった。
- (例3) 友人が自分になりすまして「誰かメールして」という書き込みとともにメールアドレスを勝手に記載された。

NO!



## 子供に携帯電話やスマートフォンを持たせる場合

### ◎危険性をお子さんに伝え、理解させましょう。

- 他人の情報はもちろんのこと、自分の名前や住所、写真、通学している学校名等、個人が特定される情報を掲載することで、犯罪に巻き込まれることがあります。
- 特定の個人に対する悪口や誹謗中傷は、「名誉毀損罪」（3年以下の懲役若しくは禁錮又は50万円以下の罰金）や「侮辱罪」（拘留又は科料）等の罪に問われる場合があります。



### ◎我が家のルールをつくりましょう

- 使用時間帯や1日の使用時間、使用場所、料金等について、それぞれの家庭や子供の状況に合った使い方やルールを話し合い、納得のいくルールをつくりましょう。ルールは定期的に見直しましょう。

### ◎フィルタリング<sup>\*2</sup>の設定を行いましょ

- 携帯電話やスマートフォンの契約時にフィルタリングを設定し、安易にフィルタリングを外さないようにしましょう。
- スマートフォンは、家の外で無線LANに接続できるので、自宅や携帯電話回線に設定したフィルタリングが機能しないことがあります。別途、スマートフォン本体にフィルタリングソフト（アプリ）をインストールしましょう。

### ※1: SNS = 「ソーシャルネットワーキングサービス」とは？

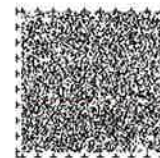


友達や同じ趣味などをもった人同士がネット上で集う場を提供するサービスです。

### ※2: フィルタリングとは？

インターネットの有害サイトを画面に表示しないように制限する機能です。「青少年インターネット環境整備法」により18歳未満の子供が携帯電話やスマートフォンを使用する場合は、業者にフィルタリングの提供等が義務づけられています。

- ①携帯電話事業者  
フィルタリング申込
- ②携帯電話事業者  
フィルタリングソフト(アプリ)



【音声コード】

専用の読み取り装置により、紙面内容の音声出力ができます。

# いじめられている子供のサインをキャッチ

いじめられている子供は、家族に心配をかけたくないという思いから、自分から打ち明けない場合も多いと思われます。しかし、何らかのサインを出していることが考えられます。いじめを早期に発見するために、下の項目をチェックしてみてください。

## ✓ 日常生活の変化

- 理由のはっきりしない衣服の汚れや破れ、すり傷やあざなどがある。
- 登校時刻になると、身体の不調を訴え登校をしづらくなった。
- 寝つきが悪い、食欲が急に落ちた、笑顔が減った。
- 意味なく夜更かしし、極端に寝起きが悪くなった。
- 死や非現実的なことに関する本やインターネット等の情報に関心を持つようになった。
- 「どうせ自分はだめだ」などの自己否定的な行動を口にするようになった。
- 妙ににこにこしたり、気をつかいすぎたりすることが多くなった。

## ✓ 家族との関係の変化

- ささいな事で怒ったり、家族に八つ当たりしたりするようになった。
- 家族との会話が減ったり、意図的に学校や友達の話話を避けたりするようになった。

## ✓ 友人関係の変化

- 親しかった友達が遊びに来なくなったり、遊びに行く回数が減ったりした。
- 電話に出たがらなかったり、友達の誘いを断ったりするようになった。
- 学校や友達に対する不平や不満を口にするようになった。
- 転校したい、学級をかかわりたい、部活動をやめたいなどの話をするようになった。

## ✓ 持ち物の変化

- 持ち物や勉強道具などがなくなったり、落書きをされたりしている。
- カッターナイフなどの刃物をカバンやポケットに入れている。
- 家庭から品物やお金を持ち出したり、必要以上にこづかいを要求したりするようになった。

## いじめる側からの発見も必要です

いじめをしていることは、いじめられていること以上に、外から分かりにくい場合が多いと思われます。

いじめを知られないような行動をとることもあります。



- 買ってやっていないものを持っている。
- お金のつかい方が荒くなった。(こづかい以上のお金をつかっている)
- 親の言うことを聞かなくなり、反抗的態度をとるようになった。
- 親が部屋に入るのを極端に嫌がるようになった。

### POINT

項目の中には思春期のどの子供にも表れるものもあります。大切なことは、子供の小さな変化を見逃さないことです。



## 家庭において努めたいこと

### 子供と過ごす時間をつくる

食事の時間を合わせたり、就寝前などの時間を利用したりして、学校の話や友達、将来について話す時間を作りましょう。



### 子供の様子にアンテナを張る

子供が今、何に関心を持っているか、どんな勉強の仕方をしているのか、読んでいる本や、学習ノート等を見る機会を持ちましょう。

### 大人同士の関係をつくる

学校行事やPTA活動、地域の行事などに積極的に参加し、保護者同士、大人同士の関係を作りましょう。

### 「SOSは出していいこと」を伝える

自分がつらい気持ちになった時は、一人で抱え込まず、信頼できる大人や友達にSOSを出していいことを伝えてください。

また、苦しんでいる友達からのSOSには「(き)づいて」「(よ)りせい」「(き)けとめて」「(ん)らいできる大人に」「(な)げる」ということを伝えてください(「きょうしつ」)支えてくれるのは家庭や学校だけでなく、様々な相談機関があり、電話やメールで相談を受け付けています。

### 【音声コード】

専用の読み取り装置により、紙面内容の音声出力ができます。

## 子供の態度や様子がおかしいと感じたら・・・

### じっくり聴いてください

お子さんが話し始めたら、まずは、自分の意見をはさまず最後まで聴いてください。



### 学校に相談してください

学校では、担任はもちろん、校長、教頭、養護教諭、スクールカウンセラー等が対応します。



### 相談できる機関があります

学校に相談しにくい、他の意見も聞いてみたい、対応に困っているというときには、右記の相談機関があります。



### 〈相談機関〉匿名でも相談できます。秘密は守られます。

#### ●子どもホットライン24 (24時間対応)

- ・福岡地区：☎092-641-9999
- ・北九州地区：☎0949-24-3344
- ・北筑後地区：☎0942-32-3000
- ・南筑後地区：☎0942-52-4949
- ・筑豊地区：☎0948-25-3434
- ・京築地区：☎0979-82-4444
- ・メールでの相談の場合(各地区共通)  
hotline24@pref.fukuoka.lg.jp

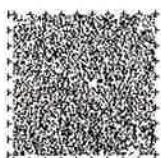
#### ●福岡市子ども総合相談センター (年末年始を除く24時間対応) ☎092-833-3000

#### ●北九州市子ども相談ホットライン (24時間対応) ☎093-881-4152

#### ●少年サポートセンター

(祝日・年末年始を除く月～金曜日 9:00～17:45対応)

- ・ハートケア中 央：☎092-588-7830
- ・ハートケアふくおか：☎092-841-7830
- ・ハートケア北九州：☎093-881-7830
- ・ハートケアいづか：☎0948-21-3751
- ・ハートケアく め：☎0942-30-7867



# 一緒に取り組もう!! 不登校の未然防止と 支援のための家庭の取組

# ACTION 3!! 保護者の アクション3!!



## ! 福岡県の不登校は増加傾向にあります!

本県では、不登校児童生徒数は増加傾向にあります。  
平成30年度は、7,000人を超え、大変深刻な状況です。

## ! 不登校はどの子供にも起こりうる!!

不登校は、その要因・背景に、学校、家庭、そして社会の様々な問題が複雑に絡みあっており、  
**特定の子供に特有の問題があることによって起こるのではなく、どの子供にも起こる可能性があります。**  
不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れ等や社会的自立へのリスクが存在します。

## ! 家庭と学校が協力した支援を進めるために!!

子供のために家庭と学校等が協力し合うことが大切です。登校しづりがある等、兆候に気付いた段階で学校へ気軽に相談しましょう。  
また、**学校ではスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった専門的な知識を有するスタッフと相談**することができます。担任や教育相談担当者等を通じて相談を申し込むことができます。  
さらに、欠席が続くようであれば、最寄りの**教育支援センター(適応指導教室)**等に相談することも有効です。学校や市町村(学校組合)教育委員会を通じて相談を申し込むことができます。

本県の不登校児童生徒数の推移  
(国公立小中学校)



### 不登校の定義

不登校とは、年間30日以上欠席の児童生徒のうち、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあること(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く)」をいいます。

【平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の特徴に関する調査】より

### スクールカウンセラーとは…

臨床心理の高度な専門性を有する「心の専門家」です。子どもや保護者との相談活動を行います。

### スクールソーシャルワーカーとは…

社会福祉士等の「福祉の専門家」です。福祉機関等と協力して子どもたちを支援しています。

### 教育支援センター(適応指導教室)とは…

不登校児童生徒が社会的に自立できるように学習や集団への適応等の相談・指導等を行う教育委員会が設置している施設です。

不登校への取組は、**新たな不登校を生まないための取組と不登校になった児童生徒への支援**の両方が大切です。

生活や学びの場である家庭・学校を魅力あるものとし不登校を未然に防ぐ努力を徹底しながら、不登校の前兆を示すなど初期の段階にある子供の変化に気づき、早期の対応を迅速かつ的確に行うことが重要であり、これには**家庭の協力がより一層必要**です。

そこで、家庭で具体的にどのように取り組んでいけばよいかをまとめたものが、**「保護者のアクション3」**です(裏面参照)。ぜひ、学校と協力して、一緒に取り組みましょう。





### すぐに、必ず、みんなで、取り組みましょう!

#### ステージ1

アクション1 **習 慣**

アクション2 **人間関係**

アクション3 **自尊感情**

#### 未然防止のアクション

- 早寝・早起きを励行し、顔を見ながら挨拶をしましょう。  しっかり食事を
- 1日のうち、決まった時間に机に向かうことを習慣づけましょう。 摂らせましょう。
- 毎日、少しの時間でも、子供と話をしましょう。
- 子供に、人間関係をつくる経験を積ませましょう。
- 地域の大人として、地域の子供と挨拶を交わしましょう。
- 機会あるごとに「あなたは大切な存在である」ことを伝えましょう。
- 学習に対する努力の姿勢や過程を認め、褒めましょう。
- 家庭で役割を持たせ、家族に貢献できていることを実感させましょう。



#### ステージ2

アクション1 **早期発見**

アクション2 **早期対応**

アクション3 **学 校**

#### 早期発見・早期対応のアクション

- 遅刻や欠席日数(月に3日の欠席)に敏感になりましょう。  ゲーム・ケータイ・スマホなど
- 子供の友達関係、遊び、持ち物、服装などに気を配りましょう。 の利用状況を把握しましょう。
- 子供が不調を訴えたら「心配している気持ち」を伝えましょう。
- 子供の生活リズムに気を配り、規則正しい生活をさせましょう。
- 子供が不安や悩みを抱えていないかさりげなく話をしましょう。
- 日頃から学校の通信等にしっかり目を通しましょう。
- 何かあったときだけでなく、日頃から担任と連絡をとりあいましょう。
- 気になることがあったら、直ちに家庭の様子を学校に伝えましょう。



#### ステージ3

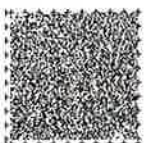
アクション1 **受 容**

アクション2 **支 援**

アクション3 **連 携**

#### 不登校になった場合のアクション

- 子供とじっくり話し、最後まで聞きましょう。  期待しすぎず、子供の小さな
- 子供の気持ちを否定せず、まず安心させましょう。 変化を探し、褒めましょう。
- 本人の好きなこと、得意なことから少しずつかわりましょう。  欠席した日でも規則正しい
- 焦って解決しようとせず、今できることから始めましょう。 生活をさせましょう。
- 1人で抱え込まず、家庭をはじめ周りの人に協力を求めましょう。
- 継続的に学校と連絡を取り、必要な情報を学校に伝えましょう。
- スクールカウンセラーなどの専門家や教育支援センター等の関係機関に積極的に相談しましょう。



家庭で取り組んでいて、迷ったとき、困ったときには相談しましょう!

#### 相談窓口紹介

匿名でも相談できます。秘密は守られます。

子どもホットライン24  
(24時間対応)

- 福岡地区 092-641-9999
- 北九州地区 0949-24-3344
- 北筑後地区 0942-32-3000
- 南筑後地区 0942-52-4949
- 筑豊地区 0948-25-3434
- 京築地区 0979-82-4444
- メールでの相談の場合(各地区共通)  
hotline24@pref.fukuoka.lg.jp

福岡市子ども総合相談センター  
(年末年始を除く24時間対応)

- 092-833-3000

北九州市子ども相談ホットライン  
(24時間対応)

- 093-881-4152

少年サポートセンター  
(祝日・年末年始を除く月～金曜日 9:00～17:45対応)

- ハートケア中央 092-588-7830
- ハートケア北九州 093-881-7830
- ハートケアくるめ 0942-30-7867
- ハートケアふくおか 092-841-7830
- ハートケアいづか 0948-21-3751